



山王小 ニュースレター



今年も SNP 後期 アートプログラム

「大地からはじまること」が無事終了しました！

2月

小規模特認校 山王小学校の特色ある教育プログラム(SNP)のひとつで、取手アートプロジェクト(TAP)と連携して取り組んでいる後期アートプログラムである「大地からはじまること 2024」が1月28日(火)の「野焼き」の実施で無事終了することができました。

「野焼き」数日前の天気予報では、当日の明け方が雨の予報となったため「てるてる坊主」を学校の窓に貼り、子供たちも晴天を願いました。「野焼き」当日の早朝6時、みぞれが少し降る中ではありましたが風もなく、今後の天気も晴れになる予報であったため実施を決定し、「野焼き」の準備を開始しました。

準備を始めた早朝6時には、点火の様子を見るために保護者の方と一緒に見学にきた子供たちも準備を手伝いました。準備完了後、子供たちの見守る中、薪の束に点火し、徐々に火を強めていきました。

授業時間には、子供たちは野焼きの様子を観察しながら、アーティストの先生から野焼きの流れについての説明を受けました。その後、子供たちは「これまでの経験を生かして上手にたき火をつけてみよう」という課題を与えられ、「U字溝」の中でたき火をつける実習を行いました。

午後になり、たき火の中から焼き上がった土器が出てくると、子供たちはうれしそうに自分の作品を探していました。

子供たちの作品は、「となりのスタジオ」の自分専用ロッカーに飾るとともに、レリーフについては校長室前の廊下に掲示する予定です。



